

独立行政法人教職員支援機構 立命館大学センター
2024年度オンライン教職員研修講座

外国にルーツをもつ 子どもの教育

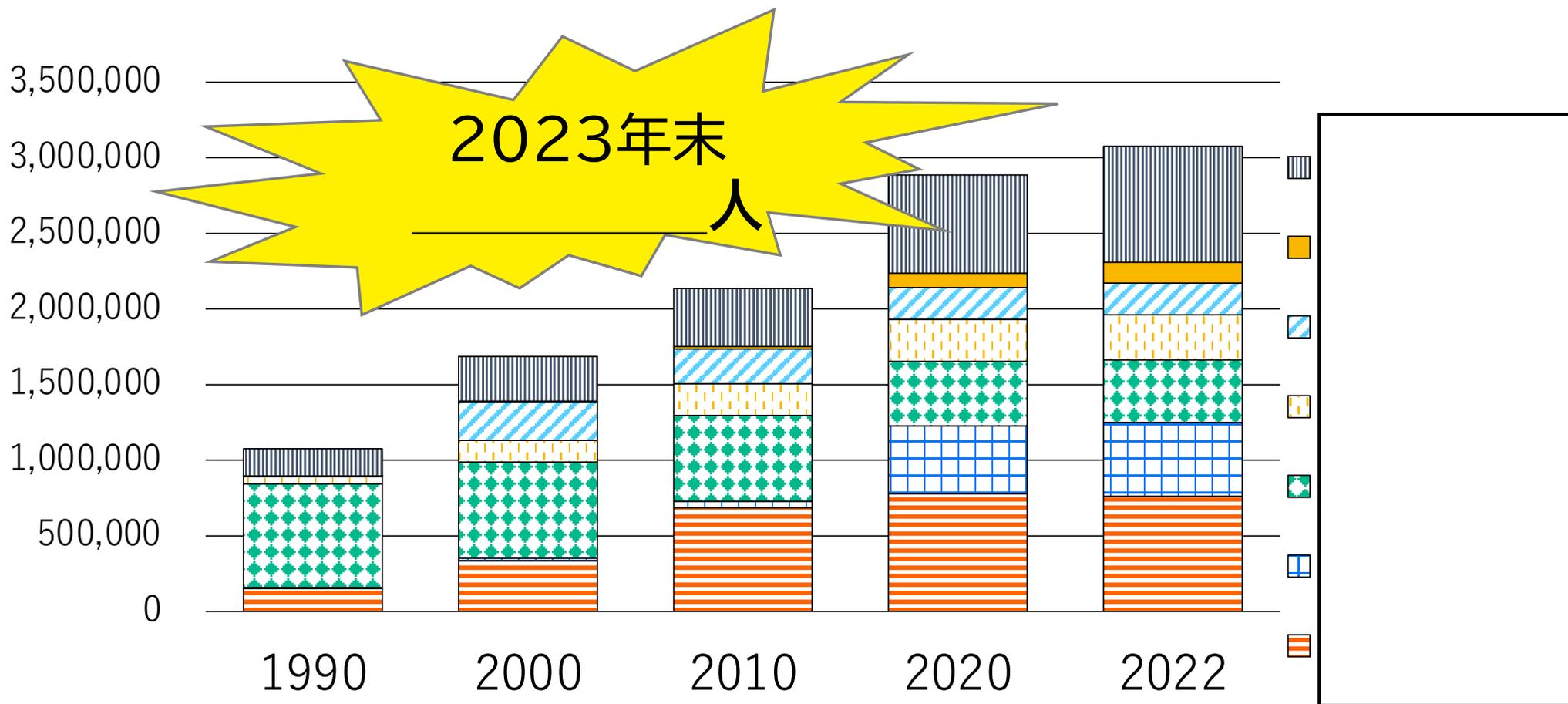
浜田麻里(京都教育大学)

本日の概要

- I 外国にルーツをもつ子どもたちの増加と多様化
- II 外国にルーツをもつ子どもたちが直面する課題
 - 1. 新しい言語・文化との出会い
 - 2. 日本語の習得
 - 3. 保護者との連携
 - 4. キャリア教育
- III 外国にルーツをもつ子どもを学校の課題に位置付ける

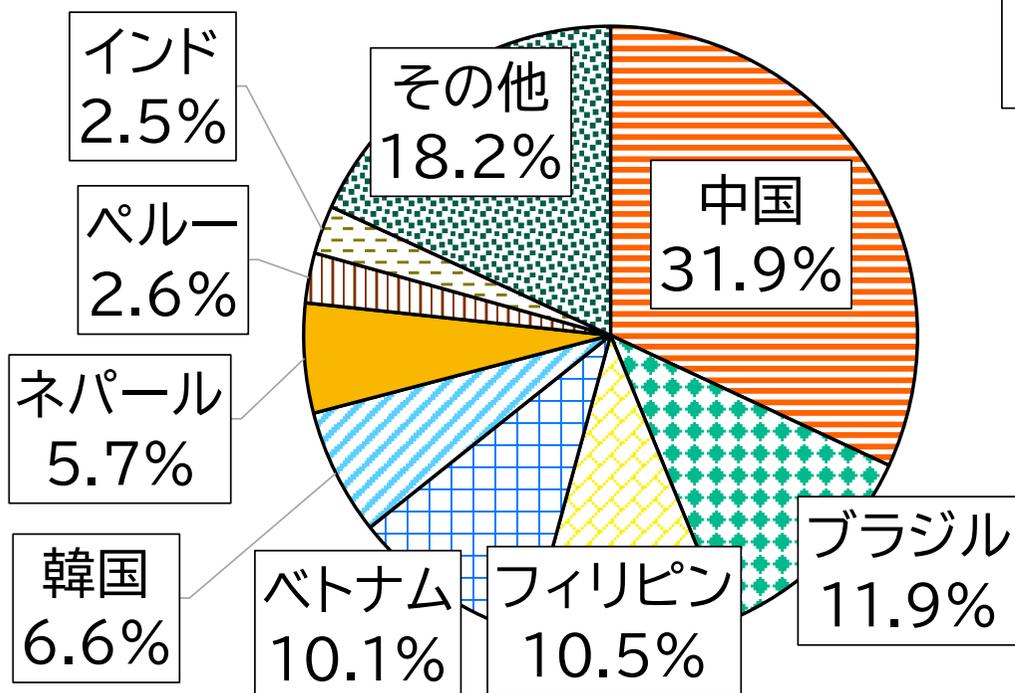
I 外国にルーツをもつ子ども たちの増加と多様化

在留外国人(旧外国人登録者)統計

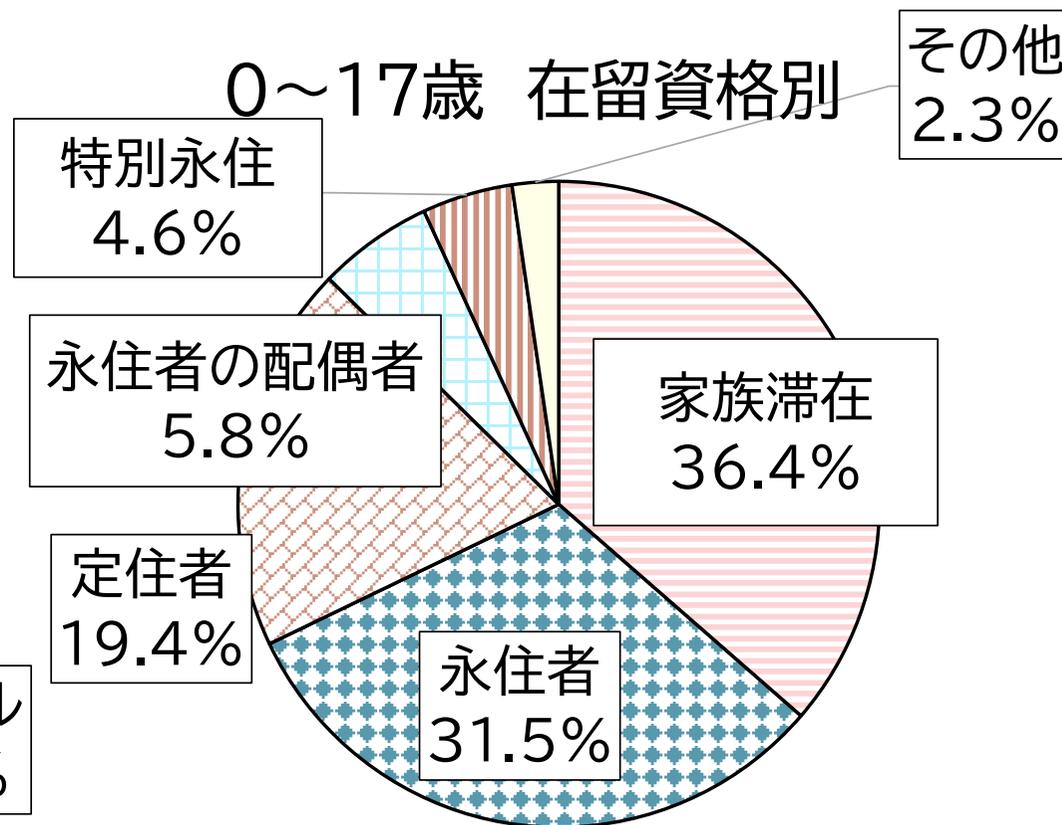


在留外国人数 0～17歳は330,225人

0～17歳 国籍別



0～17歳 在留資格別



国籍では分けられない

日本の学校で学ぶために来た人

留学生

外国人児童生徒等

海外在住または海外から帰国
(両親日本人も)

多様な言語文化
背景の子ども
/CLD児

日本国籍または二重国籍。親の少なくとも一人が外国出身

外国にルーツをもつ/外国につながる児童生徒

外国人児童生徒

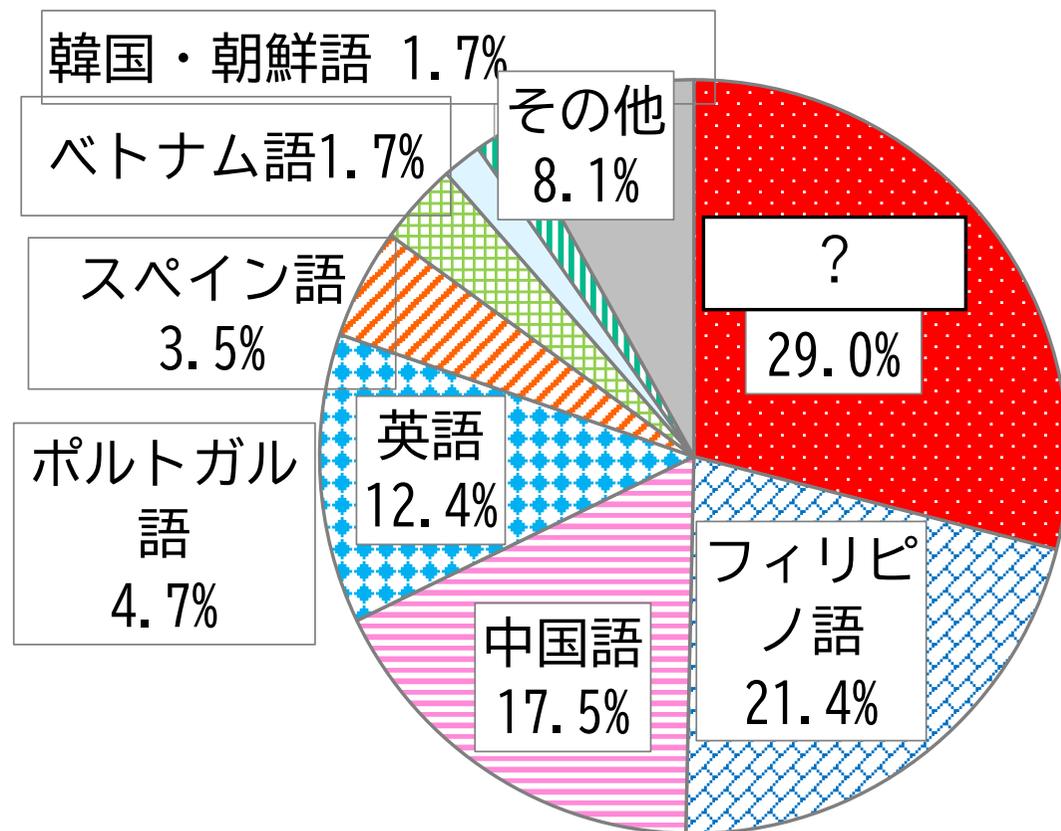
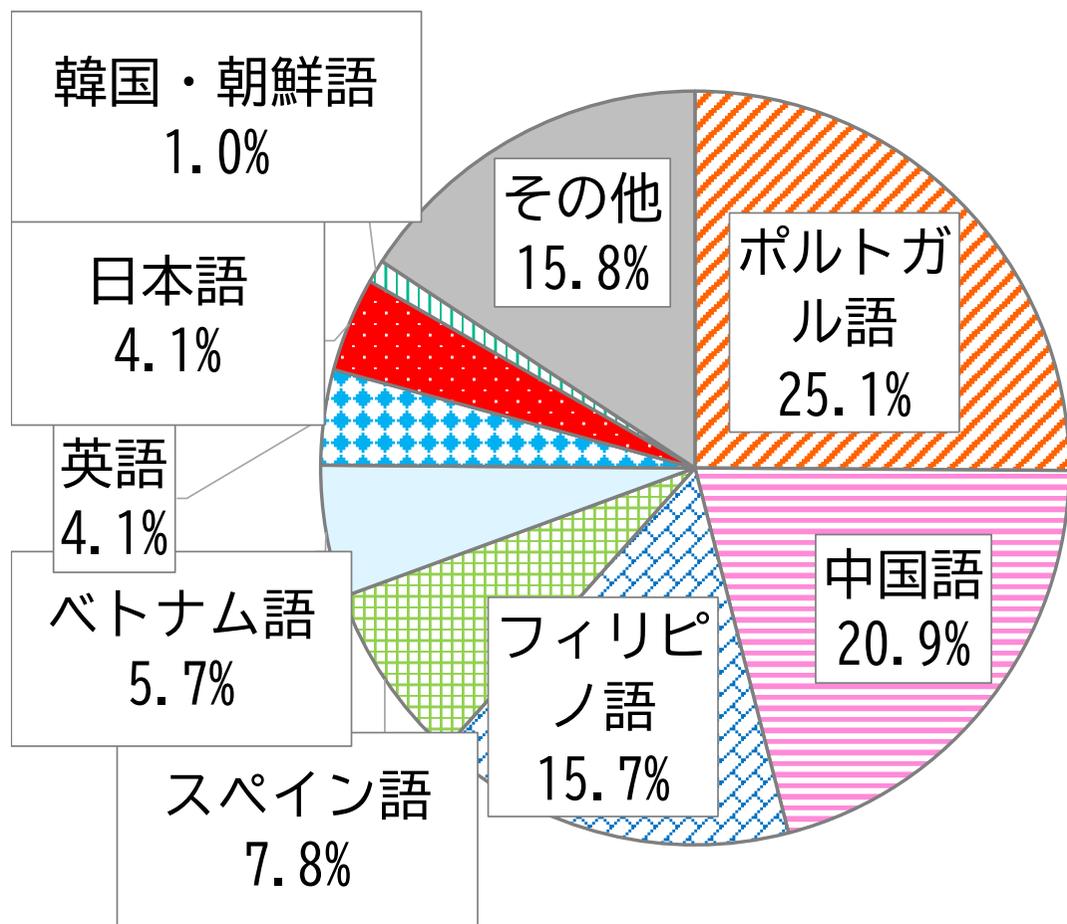
外国籍

日本語指導が
必要な
児童生徒

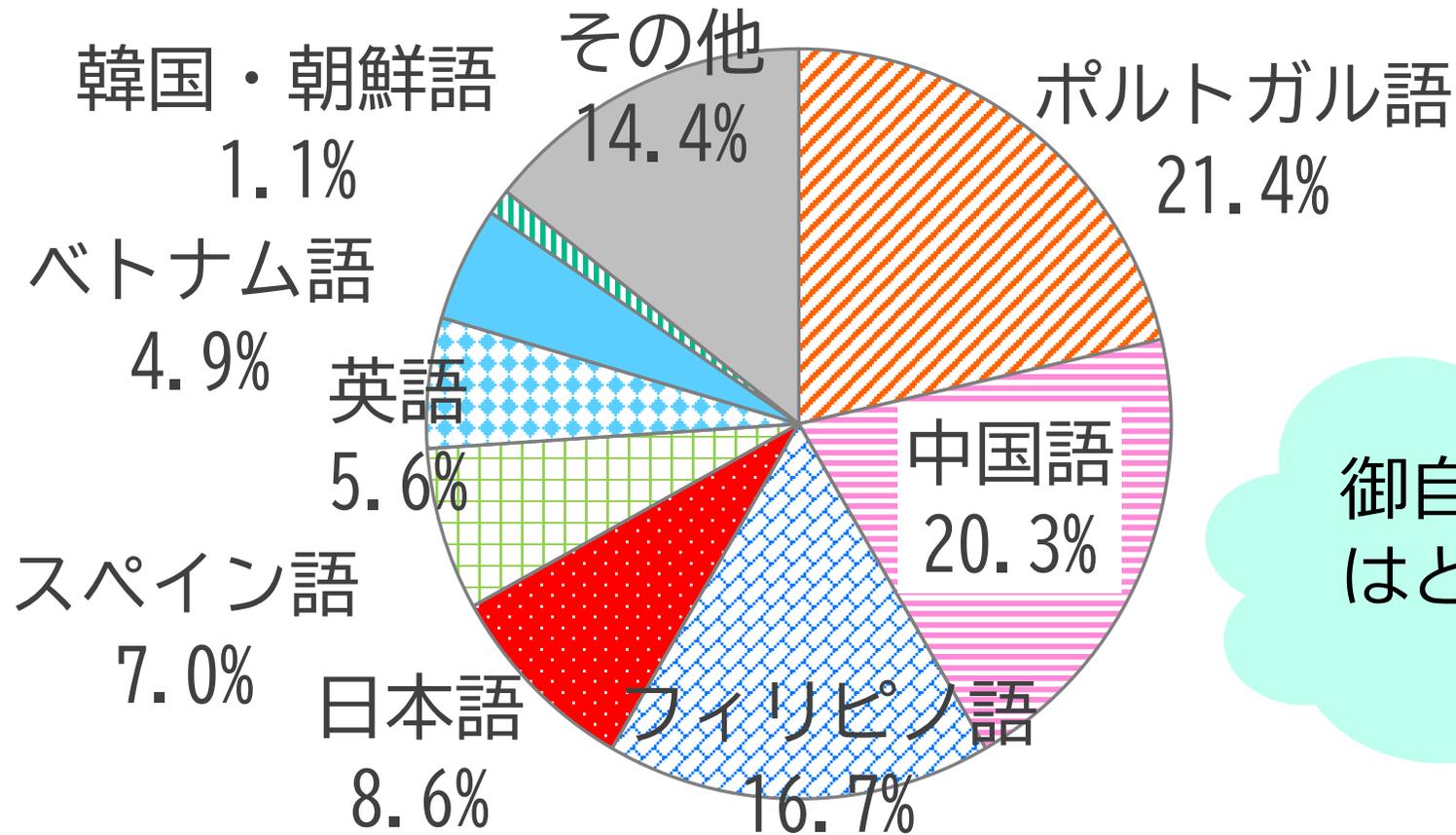
全体像の把握が
難しい

日本語指導が必要な児童生徒言語別在籍状況

外国籍47,627人 / 日本国籍10,726人



言語別在籍状況(合計)



御自身の地域ではどうですか？

日本語指導の課題

- 日本語指導が必要な児童生徒数が1～4人の学校
…全体の**71.8%**
- 日本語指導が必要な児童生徒のうち
特別の配慮に基づく指導を受けている…79.5%
そのうち「特別の教育課程」による指導を受けている
…60.8%
=全体の**48.3%**

人口動態統計・父母の国籍別（2022年）

	出生数	割合（%）
総数	787,633	
父母とも日本	755,488	95.9%
父母の一方が外国	15,271	1.9%
父日本・母外国	6,737	0.9%
母日本・父外国	8,534	1.1%
父母とも外国	16,874	2.1%

4%は多様な言語文化
の家庭

II 外国にルーツをもつ子ども たちが直面する課題

外国ルーツの子どもの課題

1. 日本語ができない
2. 発達上の課題があるのでは
3. 保護者が学校に協力的でない
4. 進路を考えるのが難しい

子どもから見ると...

親との不協和
アイデンティティの
ゆらぎ

学校生活での不安、
戸惑い、ストレス

ルーツの文化
出身国
家庭の文化
母語

文化
間
移
動

新しい文化
日本
学校文化
日本語

授業難しい

Why?日本の学校!

話しかけて
くれない

持っている力を日本
語で発揮できない

1. 新しい言語・文化との出会い

- 「当たり前」ではない日本の学校文化
 集団登校, 制服, リコーダー, プール, 掃除当番…
- 文化のルールは目に見えない
- ルールをだれも教えてくれない
- 日本語習得が進まない間は解決の手段がない



2. 日本語の習得 2.1 環境づくり

日本語ができるようになったら、
もっと授業に参加できるのに…

日本語ができないと本当に何もできないのか？

- 言語は人間関係の中で習得される

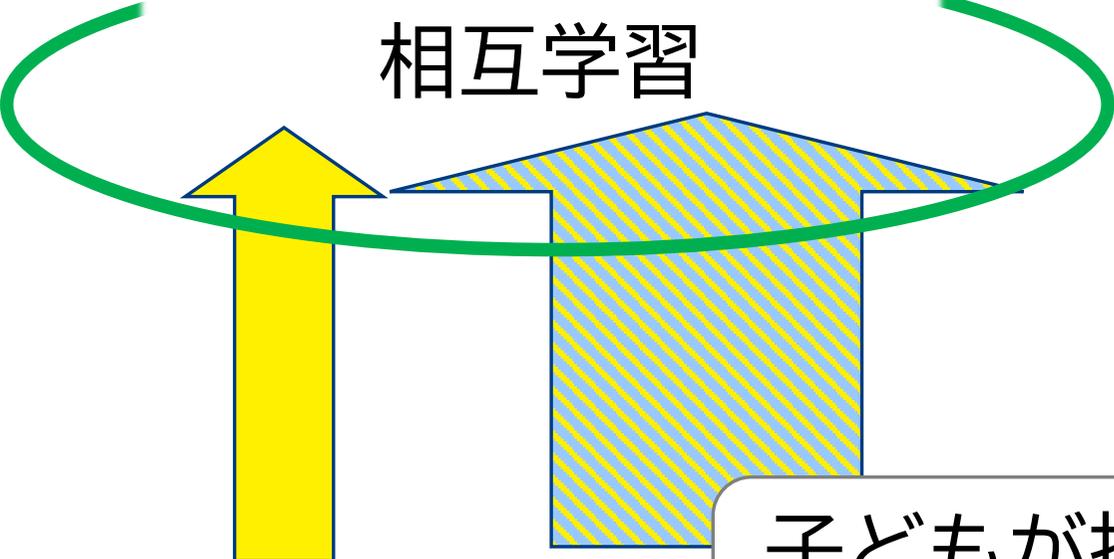
もっと自分から積極的に話しかけないと！

可能？

授業、学級経営の工夫で、「居場所」と「出番」をつくる

日本語ができないから何もできない？

他の児童生徒との
相互学習



母語・母文化を価値付ける
国語の時間に漢詩の勉強をした時、先生に「中国語で読め」って言われたんです。で、読まなかったんですけど、それはよかった。なぜかという「あ、僕は日本語はできないけど、中国語はできるんだ」って思えたから。

子どもが持っている知識、能力を活かす工夫

2.2 授業への参加

日本語教室で勉強してるんですけど、授業にはなかなか参加できないんです…

日本語で初めて学習するが、日本語なのでよく理解できない

母語

日本語

母語で学習したことがあるが、日本語で表現できない

概念

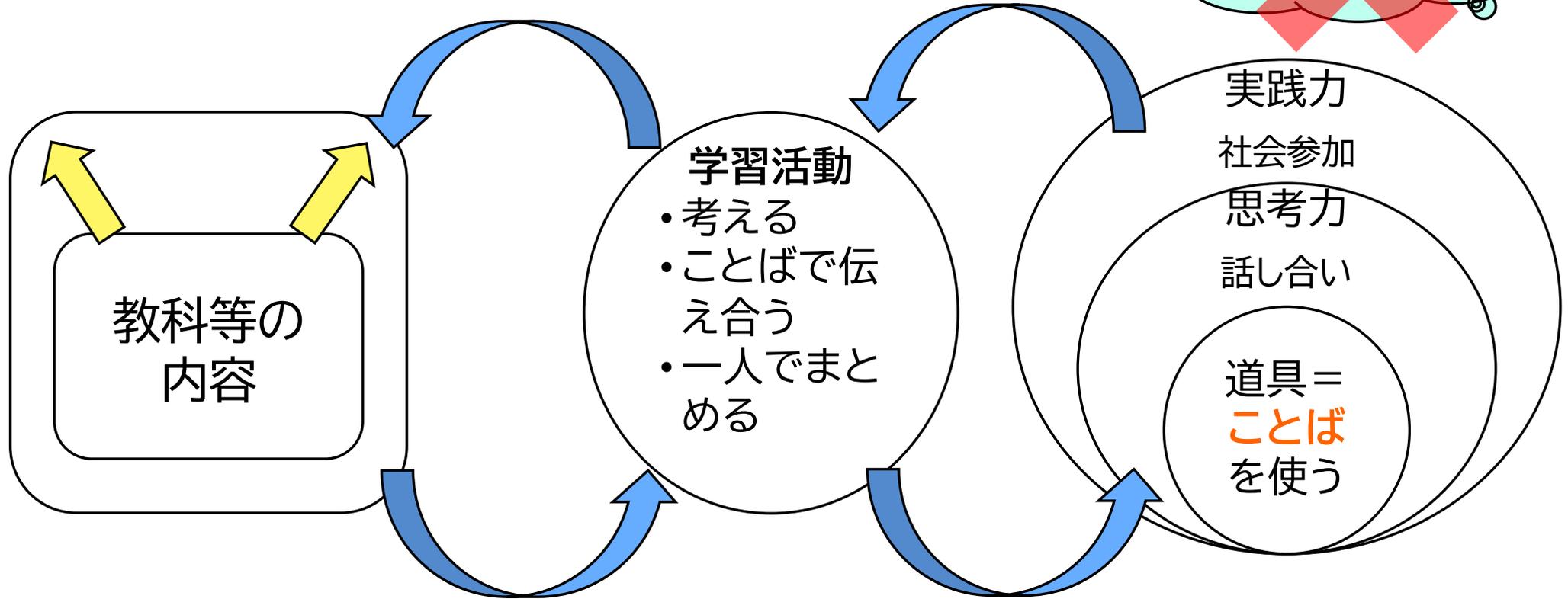
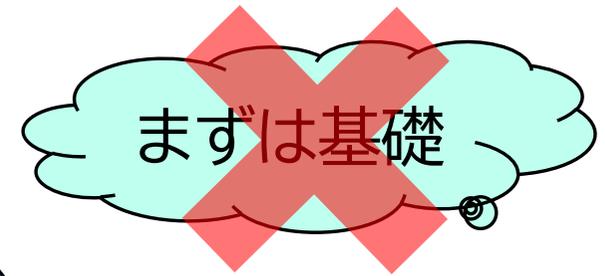
「二等辺三角形」

「光合成」

認知スキル、学習スキル

中島和子(2001)『バイリンガル教育の方法～12歳までに親と教師ができること～』アルク

資質・能力を使いながら育てる



国立教育政策研究所(2014)「資質・能力を育成する教育課程の在り方に関する研究報告書1～ 使って育てて21 世紀を生き抜くための資質・能力～」((2016)『資質・能力 理論編』東洋館出版社)を元に浜田作成

授業参加を支援する①

(1) 授業参加を妨げる要因への対応

- 文化・習慣の違い…歴史、物語の背景、授業スタイル
- カリキュラムの違いで未習

(2) 教師の働きかけの工夫

- 指示や発問, 説明をやさしい日本語で
- 情報を視覚的に提示, 板書の工夫
- 情報を焦点化
- 活動の工夫(体験, 動作化, グループワーク)

授業参加を支援する②

(3)教材, 資料の工夫

- 分かち書き, ルビ付, 教材のリライト等
- 視覚的資料
- ワークシートの工夫
- 母語資料の活用
- ICTの活用

(4)表現を支援する

- ワークシート、モデル文、選択肢を示す、対話で引き出す、言葉以外的手段を用いる
- 抽出指導との連携

参加できる場面をつくる

在籍学級の授業

抽出指導の計画

時	学習活動
1	
2	
3	
4	
5	

1. 在籍学級の授業の分析
2. 参加する場面の決定
3. 目標設定
4. 学習内容の決定
5. 学習方法の決定

在籍学級授業担当者と
抽出指導担当者の連携

多様な子どもたちの学び合い

在籍学級の授業分析→目標設定

●在籍学級の目標

いろいろな虫の体のつくりを比較して、昆虫かどうか考えることができる。

●学習活動

- ①チョウと他の虫の体のつくりを比較する
- ②昆虫かどうかを判断する
- ③自分の考えを発表する ○ ○

絵や写真を見ながら考える

ことは、参加できるか

理由を付けて

自分の考えを発表して

ほしいな

目標: 昆虫かどうかを理由を付けて発表することができる

日本語の目標

「○○は昆虫です。足が6本あります。」

「頭、胸、腹からできているから、○○は昆虫です。」

→抽出で指導

3. 保護者との連携

- 保護者と学校の関係は文化によってことなる
- 厳しい雇用環境
- 家事、子育て…日本語学習の時間もエネルギーも確保できない
- 学校生活について最初に保護者としてしっかり情報交換し、話し合う
「慣れるまでは仕方ないか…」は後でトラブルに
- 保護者が学校に関われるようにするための工夫
 - 重要なお知らせや回答が必要な書類が分かるようにする
 - 懇談会、保護者会の配慮
 - 「多言語進路ガイダンス」
- 子どもを「ヤングケアラー」にしない

4. キャリア教育

- 日本社会に関する情報、知識が少ない
 - ✓「多言語進路ガイダンス」の開催や参加の促進
 - ✓ロールモデルとの出会い
- 自治体全体で高校入試の改善に取り組む
- 自己イメージを肯定的なものに再定義できるきっかけづくり
- 地域との連携により、社会参加の経験を積み重ねる
 - ➡自分自身の社会での役割の具体的なイメージに結び付ける

「市民性教育」

III 外国にルーツをもつ子どもを学校の課題に位置付ける

生徒指導として

●生徒指導の定義

社会の中で自分らしく生きることができる存在へと、自発的・主体的に成長や発達する過程を支える教育活動

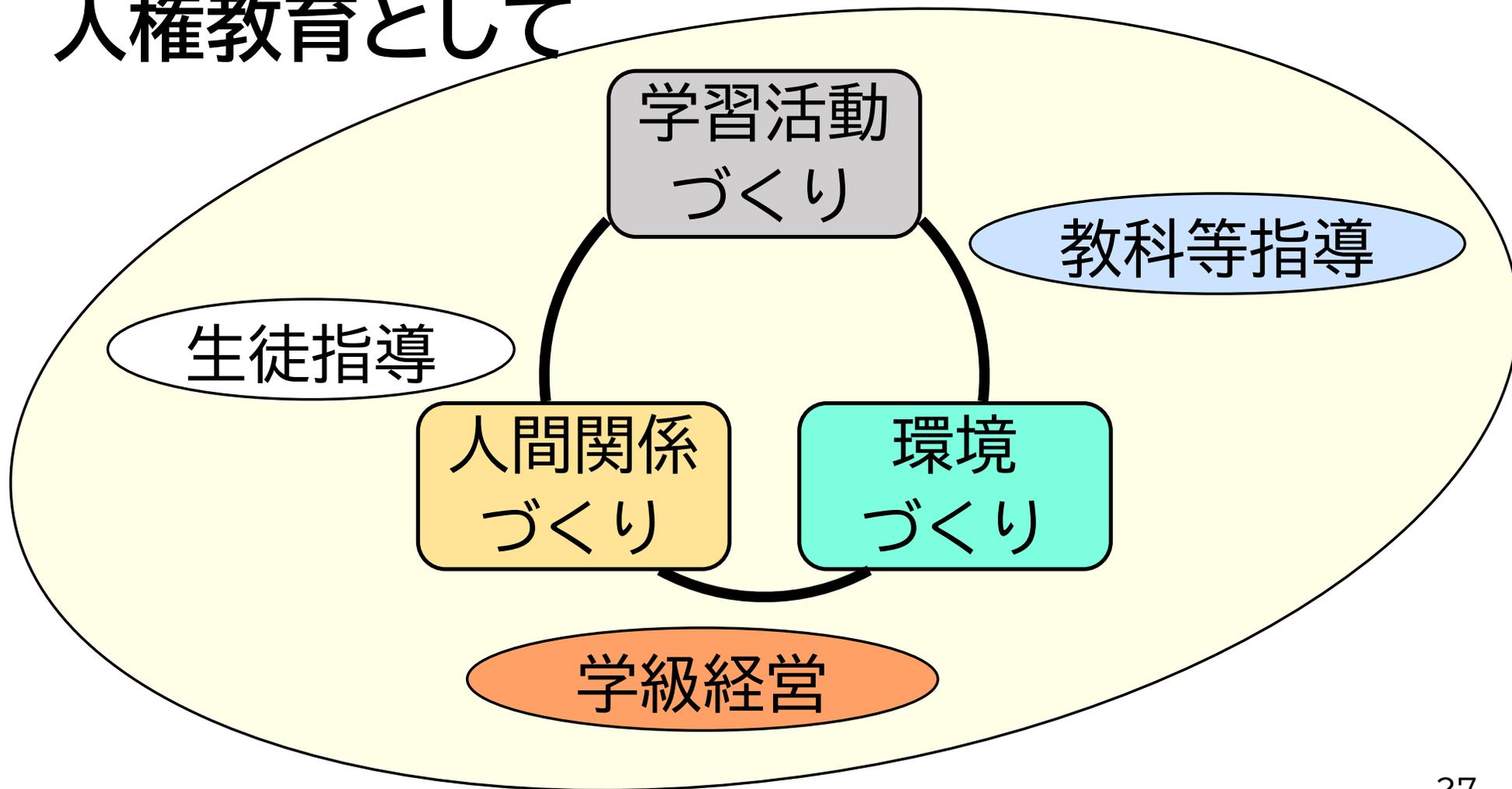
●生徒指導の目的

学校生活における多様な他者との関わり合いや学び合いの経験を通して、学ぶこと、生きること、働くことなどの価値や課題を見出していく。その過程において自らの生き方や人生の目標が徐々に明確になる

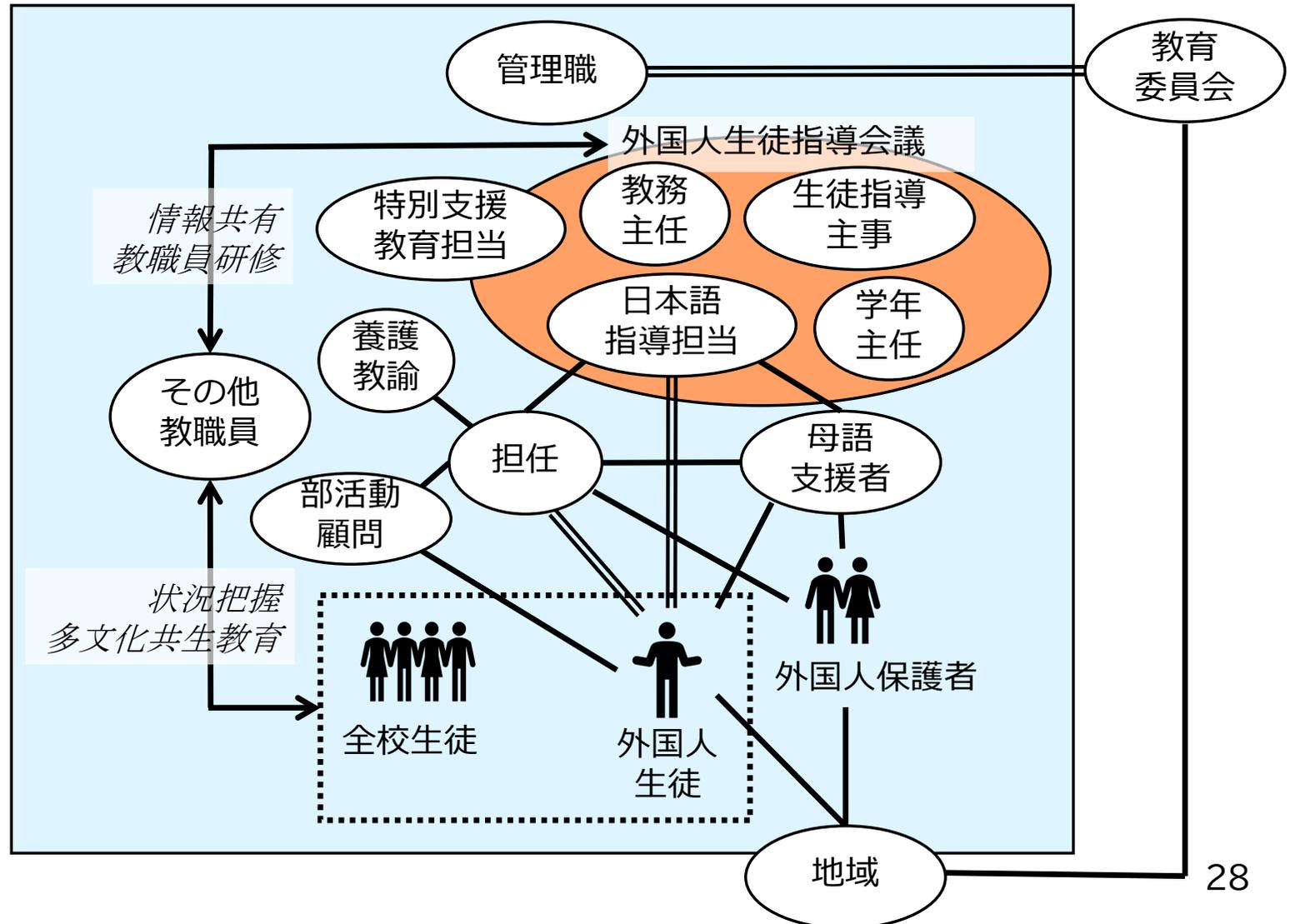
「##さんは〇〇人だから…」
自分らしい？

日本人vs〇〇人…「多様」と言える？

人権教育として



教育コミュニティづくり



リソース集

★文部科学省 CLARINET (https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/clarinet/main7_a2.htm)

- 『外国人児童生徒受入れの手引き【改訂版】』
- 外国人児童生徒のためのJSL対話型アセスメントDLA
- 外国人児童生徒等教育に関する動画コンテンツ
- 外国人児童・保護者向け動画

★東京学芸大学 文部科学省委託事業

「高等学校における日本語指導体制整備事業」(<https://www2.u-gakugei.ac.jp/~knihongo/index.html>)

- 『高等学校における外国人生徒等の受入れの手引き』
- 『高等学校の日本語指導・学習支援のためのガイドライン』⁹

★文部科学省 かすたねっと(<https://casta-net.mext.go.jp/>)

- 教材検索 ← 「個別の指導計画」作成参考資料①～④
- 文書検索

★（独）教職員支援機構NITS

全国教員研修プラットフォーム Plant (<https://www.nits.go.jp/service/plant/>)